

○5年間（令和3年度～令和7年度）の取組状況（九頭竜川・北川大規模氾濫減災協議会）

資料2-2

①情報伝達、避難計画等に関する事項

項目	課題	取組機関	取組状況		完了 継続
			実施した取組内容	取組実施による効果	
避難勧告等の発令について	・避難勧告が夜間の場合、避難時の災害や事故等が懸念される	6市町 近畿地整 気象台 福井県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成促進</li> <li>・避難のための時間を十分に確保した避難勧告を発令するためのタイムラインの検証と改善（活用訓練等の実施）</li> <li>・関係者の役割分担をより明確にしたタイムラインの改良</li> <li>・ダム下流河川の避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成</li> <li>・上記タイムラインの作成支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時に、福井河川国道事務所長と首長とのホットラインによる情報の共有ができています</li> <li>・市町や関係機関において、タイムラインの検討を行っている</li> </ul>	継続
	・空振りの避難勧告が多発した場合に信頼性が薄れて避難率の低下が懸念される				
	・防災対応に必要な複数の機関からなるタイムラインは作成されておらず、防災機関の対応のばらつきが懸念される				
	・市町が避難情報の発令を判断するために必要となる情報や伝達されるタイミング、情報と避難情報発令関係が明確になっていない				
避難場所、避難経路について	・浸水エリア内に避難場所や避難経路が指定されている	6市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハザードマップの更新・周知</li> <li>・市町を越えた広域避難計画の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・想定最大規模や計画規模での浸水想定区域図をもとに各自治体にてハザードマップを作成している</li> <li>・ハザードマップを公表し避難場所・避難経路も明記している</li> </ul>	継続
住民等への情報伝達の体制や方法について	・住民に対し切迫感が伝わっていない	協議会全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川水位情報等、住民の避難行動に繋がる情報提供による避難体系の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災行政無線を整備している</li> <li>・ケーブルテレビや防災メール、SNSでの情報発信をしている</li> <li>・CCTVカメラの映像（静止画）をHPで提供している</li> <li>・防災に関する出前講座や講習会等を実施している</li> <li>・住民の避難行動を促すためプッシュ型の洪水予報等の情報発信を行っている</li> </ul>	継続
	・住民の防災意識・知識が十分ではなかった	協議会全体			
避難誘導體制について	・高齢者に配慮した避難計画となっていない	6市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時における逃げ遅れをなくすため、要配慮者利用施設の避難確保計画の作成及び避難訓練の実施</li> <li>・災害時における逃げ遅れをなくすため、避難行動要支援者の個別避難計画の作成及び避難訓練の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定避難所の表示板を設置している</li> <li>・避難情報の早期発令を行っている</li> <li>・避難行動要支援者名簿を作成している</li> <li>・高齢者の避難行動の理解促進のための地域包括支援センター・ケアマネジャーとの連携を進めている</li> </ul>	継続
	・夜間などの避難勧告発令時期のタイミングが難しい	6市町			
	・避難行動要支援者の避難誘導體制が確保されていない	6市町			
避難に関する啓発活動について	・水害経験の無い世代への水防災意識の伝承が十分でない	協議会全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「わが家の防災コンテスト」などの参加型の防災啓発活動をさらに進めるため、福井県内の小学生の参加者数が増加するよう、域内全教育委員会に積極的に働きかける</li> <li>・防災に関する補助教材を活用した小中学校等と連携した防災に関する出前講座の取組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災に関する出前講座、出前授業や講習会等による啓発活動を実施している</li> <li>・防災ハンドブックを配布している</li> <li>・講習会等を実施し、避難確保計画やマイ・タイムラインの作成を推進している</li> <li>・災害図上訓練などのワークショップを実施している</li> <li>・河川改修やダムの整備効果の情報提供している</li> </ul>	継続
	・平成16年7月の福井豪雨では、避難率が5%にとどまり、住民の防災意識・知識が十分でなかった。	協議会全体			
	・避難情報やハザードマップ等のリスク情報に対する住民の理解が十分でなく、避難行動につながっていない。	6市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の避難行動の理解促進のための地域包括支援センター・ケアマネジャーとの連携</li> <li>・指定避難所等までの避難ルートを示した避難マップ（マイ防災マップ）の作成促進</li> <li>・住民一人一人の避難計画（マイタイムライン）の作成促進</li> <li>・応急的な避難場所確保の必要性について検討</li> </ul>		
	・ダムや堤防等の施設に係る機能や効果が住民に十分理解されていない	近畿地整 福井県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川改修やダムの整備効果の情報提供</li> </ul>		

②水防に関する事項

項目	課題	取組機関	取組状況		完了 継続
			実施した取組内容	取組実施による効果	
水防体制	・水防団構成員の高齢化が顕著である	6市町	・水防団員や消防団員の募集の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災組織の立ち上げ補助や育成を行っている</li> <li>・防災組織の協議会を設置している</li> <li>・自主防災組織への資機材の補助を行っている</li> <li>・国と関連自治体が共同で重要水防箇所の点検を行っている</li> </ul>	継続
	・自主防災組織の組織率が低下している	6市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災組織の活用、強化（組織の育成や立ち上げサポート等）</li> <li>・水防資機材の備蓄等の着実な確認</li> </ul>		
	・水防団の連絡体制の不備により出動・初動体制が混乱している	協議会全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ロールプレイング方式による情報伝達訓練の実施による連絡体制の強化・確認（タイムラインの活用も検討）</li> <li>・市町を越えた水防訓練の検討（「市町を越えた広域避難計画の作成後に訓練を実施予定）</li> </ul>		
	・担当エリアに隣接する地区との重要水防箇所に関する情報・認識が十分でない	近畿地整 6市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重要水防箇所の情報共有と関係市町による共同点検の実施（国管理区間）</li> </ul>		

③氾濫水の排水に関する事項

項目	課題	取組機関	取組状況		完了 継続
			実施した取組内容	取組実施による効果	
氾濫水の排水について	・氾濫発生後、速やかに被害状況の把握が出来ていない	近畿地整 福井県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・九頭竜川・北川に関する河川情報等の迅速な状況把握と関係機関への情報提供と共有</li> <li>・基地被災時を想定した衛星通信車や対策本部車を利用した訓練</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川情報等の迅速な状況把握と関係機関への情報提供と共有を行っている</li> <li>・訓練を実施し、被災時の備えを整えている</li> </ul>	継続
ボランティア活動等の強化	・ボランティア活動等の支援活動の効率的な運用（活用）が出来ていない	近畿地整 福井県 6市町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアの効率的な活動を支援するため「福井県社会貢献活動支援ネットシステム」を活用できるよう拡充を検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各市町において、「福井県社会貢献活動支援ネットシステム」の活用が進められている</li> </ul>	継続